

2021年度宮城大学入学者選抜（2020年度実施）の変更について（予告）

本学では、2017年度にスタートした学群改組にあわせて、国が進める高大接続改革の検討状況を見据えながら、大きな入学者選抜制度改革を実施いたしました。

この度、2020年度に実施する2021年度宮城大学入学者選抜を、以下のとおり変更することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、このほかの変更内容については、後日、本学ウェブサイトにて公表する予定としております。（秋以降の公表を目指しますが、情勢によっては2018年度末までの追加公表となります）

1. 入試区分（呼称）の変更について

入試区分の呼称を下記のとおり変更します。

変更前	変更後
一般選抜	（変更無し）
AO入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜

2. 大学入学共通テストについて

一般選抜では、従来の「大学入試センター試験」に代わる「大学入学共通テスト」の成績（国語と数学の新たな記述式問題の結果も含む）を利用した入学者選抜を実施します。（新たな総合型選抜、学校推薦型選抜における「大学入学共通テスト」の利用については、現在検討中です）

なお、一般選抜における「大学入学共通テスト」の利用教科・科目については、2019年度入学者選抜において本学が指定する教科・科目から変更の予定はありません。ただし、本日現在公表されている「大学入学共通テスト」の実施概要から、今後、変更等があった場合は、さらに変更する場合がございます。

3. 一般選抜における外部の「資格・検定試験」の活用について

一般選抜では、英語4技能を適切に評価するため、「大学入学共通テスト」と大学入試センターが認定した全ての「資格・検定試験」を活用します。（新たな総合型選抜、学校推薦型選抜における「大学入学共通テスト」の利用については、現在検討中です）

なお、入学者選抜における「資格・検定試験」の具体的な活用方法については、今後、大学入試センターで認定される「資格・検定試験」の内容を注視しながら、後日公表いたします。

4. 調査書の活用方法について

大学入学者選抜において「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、調査書の改善が予告されています。

本学では、全ての入試区分において、一人ひとりが積み上げてきた大学入学前の学習や多様な活動等を評価するため、調査書を十分に活用してまいります。特に、総合型選抜や学校推薦型選抜においては、調査書の「総合的な学習の時間の内容・評価」や「備考」等の項目で、高等学校段階で積み重ねられた「探究的な学習への取組」の成果を十分に評価してまいります。

以上